

**杵築市・国東市に花き・
放牧のファームズ スクールを新設** 農山漁村振興部
管澤 栄児

農業の担い手確保・育成を図るための取組として、杵築市にホオズキ+ヤマジノギク、国東市に肉用牛繁殖（放牧）のファームズスクール（FS）が新たに設置されました。

これまでも、杵築市に2品目（ハウスみかん、スイートピー）、国東市に2品目（ミニトマト、七島イ）のFSが設置されており、2名（ミニトマト）が研修を終えて就農しています。

本年度は現在、2年目の研修生を含め5名が研修中であり、関係機関が役割分担し、研修開始から就農まで一貫して支援していきます。



肉用牛繁殖（放牧）FSの地域説明会

**国東市に地域農業経営
サポート機構が設立** 生産流通部
雨川 公洋

担い手不在集落の解消等、地域農業が抱える様々な課題を解決するため、市、農業公社、振興局で検討を重ね、「国東市地域農業経営サポート機構」〔（公社）国東市農業公社〕が6月に設立されました。

サポート機構では、集落営農法人連絡協議会（17法人）や認定農業者の会（220経営体）を連携員として位置づけ、アンケートによる集落や担い手の現状把握を行い、農地の利用調整や水田畑地化の推進、農作業受託、トレーニングファームを活用した担い手の育成・支援等に取り組みます。



水田畑地化の推進に向けた集水研設置研修会

**水田における加工用
キャベツ栽培の取組** 生産流通部
豊福 博記

国東市安岐町の米・麦・大豆を中心とした水田農業経営体が、新たに水田での加工用キャベツ栽培に取り組んでいます。

キャベツ導入による収益向上に加え、麦・大豆の連作障害軽減や時期別作業の平準化を目指しており、昨年度の試作が良好だったことから、本年度は8haへ規模拡大を計画しています。

振興局では、水田への園芸品目導入のモデルとして、補助事業を活用した機械化体系の整備や、病害虫防除等の技術指導により、安定生産に向けた支援を行います。



乗用型移植機による作業の大幅な効率化

**鷲野尾池を守る記念碑
が完成** 農林基盤部
都留 俊明

国見町^{くしのみ} 榊海^{わしの}の鷲野尾池^{おいけ}において、池を守る記念碑の除幕式が3月15日に開催されました。

振興局が30年11月に実施した「ためもり教室（ため池教室+もりりん教室）」において、ため池の役割や大切さを学習した竹田津小学校の全児童22名が、その成果を鷲野尾池のルールとして描き、地元住民と改修工事の施工者等の協力により建立したものです。

式は改修工事の完了に併せて開催され、全児童と教職員、地元住民、工事関係者約40名が参加し、全員で鷲野尾池を散策しました。



完成した記念碑の前での記念撮影